

団 体 名		人と野生生物の関わりを考える会					
代 表 者	住所	〒070-8061 北海道旭川市高砂台2丁目2番2の703号					
	氏名	柳田 和美	電話	090-7515-8901	FAX		
事務局等	住所	旭川市内					
	氏名	佐藤 伸高	電話	090-5222-1947	FAX		
Eメール	yyy@fancy.ocn.ne.jp (柳田 和美)		ホームページ	-			
	nobutakanobu@gmail.com (佐藤 伸高)						
設 立 年 次	平成20年		会員数	約30名		会 則	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
活 動 資 金	助成金および会員の寄付						
☆設立(活動)目的							
<ul style="list-style-type: none"> 旭川市内の永山新川における野鳥への餌付けに対する自然環境への影響について市民に発信することを目的として発足。人と野生生物がどのような距離で関わっていくかを考え、餌付け問題や外来種問題、身近な自然環境について啓発活動を目的に活動しています。 							
☆主な活動内容							
<ol style="list-style-type: none"> 永山新川に設置された「生き物思いやり線」の設置 <ul style="list-style-type: none"> → 「生き物思いやり線」は物理的な障壁ではなく、人と野生生物がどのように関わっていくのかを考えていただく精神的な障壁として設置しています。 外来種アズマヒキガエルやウチダザリガニの捕獲調査や啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> → アズマヒキガエルやウチダザリガニは元々北海道にはいなかった生物です。これらの外来種の調査や捕獲を通して身近な自然の変化について啓発しています。現在ウチダザリガニの主な調査・活動は旭川ウチダザリガニ防除隊やざりがに探偵団等が主催しています。アズマヒキガエルの調査・捕獲は旭山動物園等が主に活動しています。 パネルシアター(演劇) <ul style="list-style-type: none"> → 演劇を通して身近な自然や外来種問題について啓発しています。演目は「カラスについて」と「アライグマとタヌキについて」があります。 <p>カラスはゴミを漁る嫌われ者という認識がありますが、私たち人間がルールを守ってゴミを出すことができればカラスは悪者にはなりません。誰でも知っている身近な動物カラスを題材に、人と野生生物との関わりについて考えていただいています。</p> <p>アライグマとタヌキに関しては、外来種であるアライグマが農業被害などを引き起こしていますが、ペットブームにより北米から輸入された個体が捨てられたため野生化したことが原因と考えられています。アライグマを通して身近な自然の変化や、ペットとして飼った命に責任を持つことの大事さを啓発しています。</p> 							

☆近年の活動状況, 今後の活動予定等**<2015年活動>**

- ・ 3月29日 旭川市旭山動物園を会場に「描こう水辺の鳥たち～聞いて大切な思いやり～」の開催。永山新川に設置している生き物思いやり線の役割についての説明と、身近な自然に関するお話を行った後、参加者全員で生き物思いやり線に貼るパネルの作成を行った。
- ・ 4月25日 永山新川「生き物思いやり線」の移設と自然観察会
- ・ 11月11日 永山新川「生き物思いやり線」の移設と自然観察会

<2017年活動>

- ・ 2月11日 平成28年度第4回旭川市生物多様性セミナーにて「野生動物への餌付け問題について」において講演

<2018年活動>

- ・ 2月10日 平成29年度第4回旭川市生物多様性セミナー「野生動物との関わりについて考える」において講演

そのほか、他の自然活動団体の活動やイベント情報のメールを介しての広報活動を随時行っている。

☆表彰その他受賞等